



播種までの管理作業

気象庁の寒候期予報によると今年は暖冬傾向と予想されています。暖冬年の極端な早播きは、過繁茂や凍霜害をまねきます。早めに準備し、適期播種を待ちましょう。

適期播種が最重要です！

播種適期に、耕起、播種、除草剤散布までの作業を一気に行えるよう事前準備しましょう。

なお、播種が遅れた場合、生育量確保のため12月上旬で2割、中旬ではさらに2割播種量を増やします。

麦の播種適期

麦種	平坦地～準平坦地 (標高200m以下)	中山間地 (標高200m以上)
小麦		—
裸麦	播種期 11/15～12/10 [※最適期 11/20～25] 播種量 6～8kg/10a	播種期 11/10～25 [※最適期 11/15～20] 播種量 6～8kg/10a

適期播種のための事前準備！

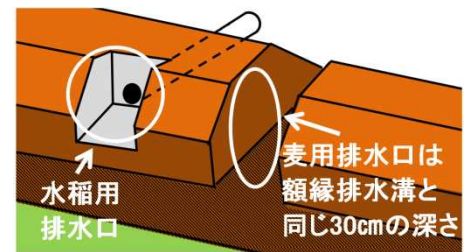
準備その1. 排水対策

まずは**排水対策**！天候不順による作業遅れを防ぐ、大事な作業です。

① 額縁排水溝を掘る！

- ・ 深さ30cmを目標に**額縁排水溝**を圃場全周に掘り、排水口に接続します。
- ・ 排水口が額縁排水溝より浅いと滞水してしまいます。可能なら、ほ場外に排水できるよう右図の様に麦用排水口を設置しましょう。

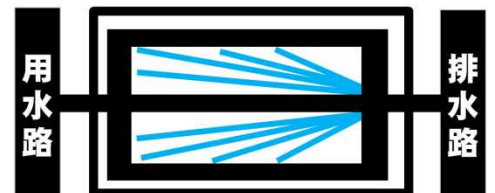
額縁排水溝施工例



② 弾丸暗きよを施工する！

- ・ **弾丸暗きよ**は、本暗きよと直行するよう2～5mおきに施工しましょう。
- ・ 本暗きよが無い場合、右図の様に放射状に施行し、直接排水口へ落とせば排水がより良好になります。
- ・ 事前に来れない場合は、生育初中期の施行でも十分な効果があります(適期播種を最優先)。

弾丸暗きよ施工例



弾丸暗きよは排水口近くの額縁排水溝に直接つなげる。

準備その2. 酸度矯正

適正pHは、**6.0～6.5**です。特に大麦で注意が必要です。

時期を選ばない作業なので天候を見て、早めに石灰質資材を施用しましょう。

pH6.2を目標とした資材の施用量

資材の種類	kg/10a 土壌のpH		
	<4.5	<5.0	<5.5
ミネラルG	300	175	85
ケイカル	300	175	85
炭カル	250	150	70
苦土石灰	240	145	65

注) 上記は粘質～壤質土壌の施用量。